



資料 1

平成27年度 決算及び事業実績について

神奈川県営水道懇話会資料



I 平成27年度決算概要

1 決算の概要

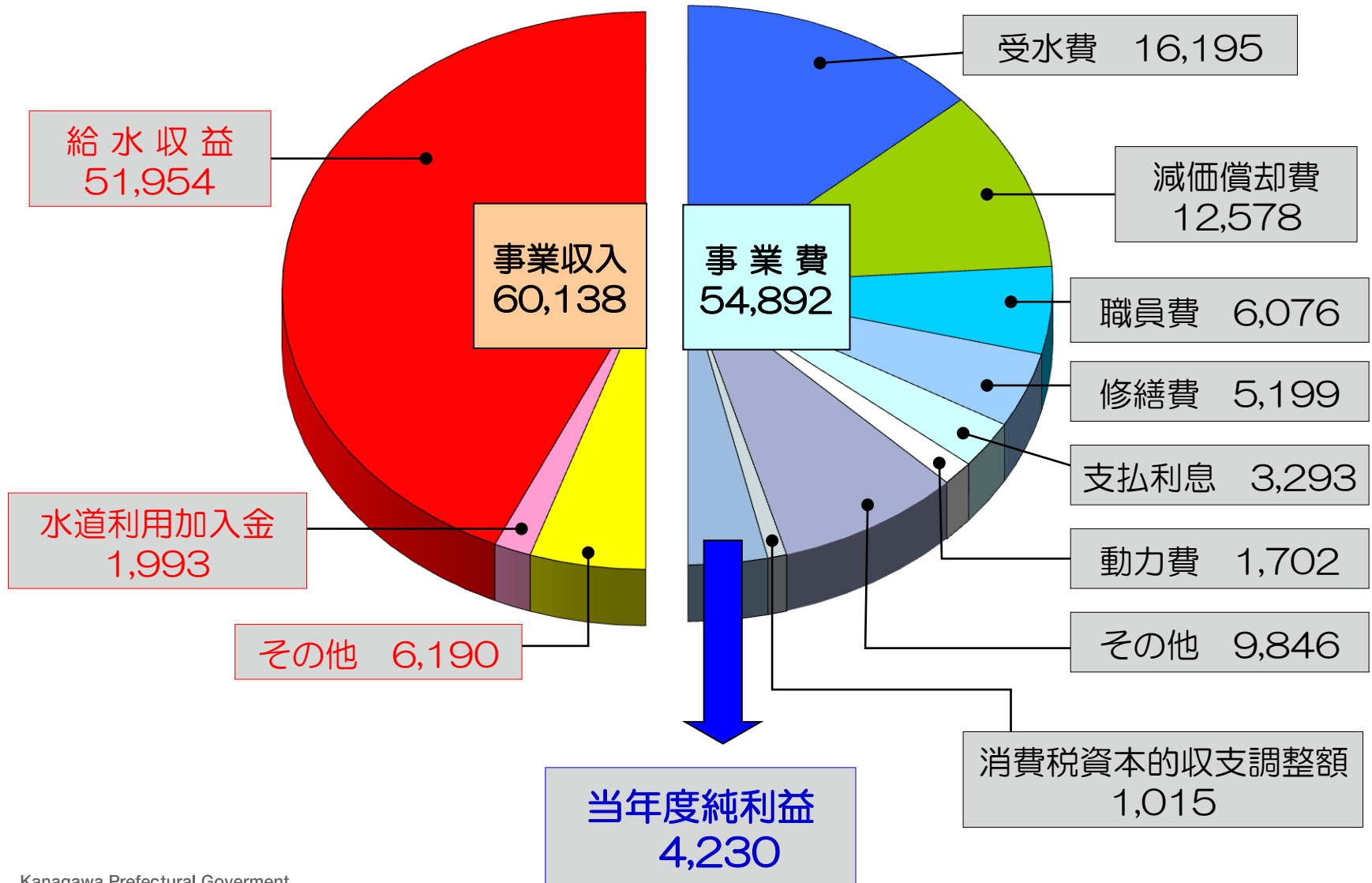
<収益的収支>

(単位:百万円)

科目等		年度	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	増減額 A-B
収益的 収支	収益的収入	a	60,138	63,295	△ 3,157
	営業収益		55,166	55,349	△ 183
	給水収益		51,954	51,677	276
	その他の収入		3,212	3,672	△ 459
	営業外収益		4,700	5,244	△ 544
	水道利用加入金		1,993	1,902	91
	その他の収入		2,706	3,341	△ 635
	特別利益		271	2,701	△ 2,430
	収益的支出	b	54,892	63,306	△ 8,414
	営業費用		49,909	52,021	△ 2,111
	職員費		6,076	5,584	492
	受水費		16,195	16,286	△ 91
	動力費		1,702	1,944	△ 241
	修繕費		5,199	5,773	△ 573
	減価償却費		12,578	13,609	△ 1,031
	その他の支出		8,156	8,822	△ 665
営業外費用		4,982	5,379	△ 396	
支払利息		3,293	3,565	△ 272	
その他の支出		1,689	1,813	△ 123	
特別損失		0	5,906	△ 5,906	
消費税資本的収支調整額	c	1,015	797	217	
当年度純利益又は純損失 (a - b - c)	d	4,230 (2,393)	△ 808 (634)	5,038	

<収益的収支>

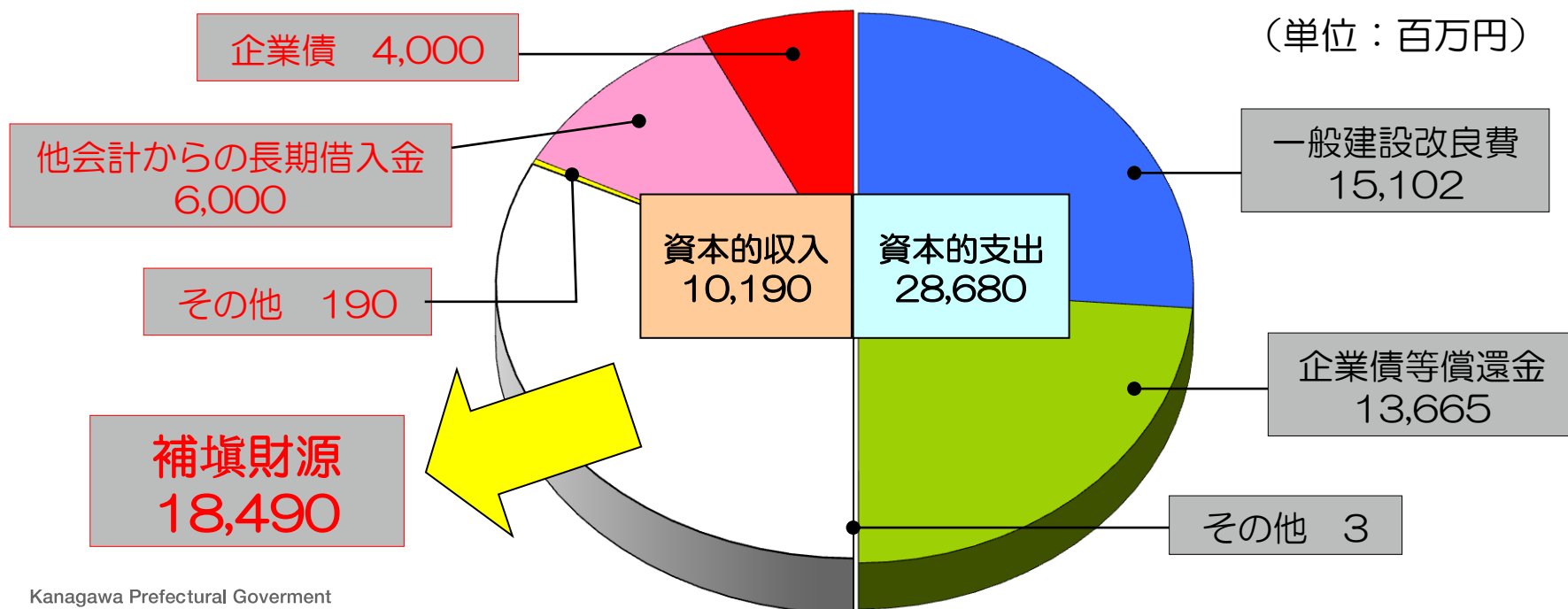
(単位：百万円)



<資本的収支>

(単位:百万円)

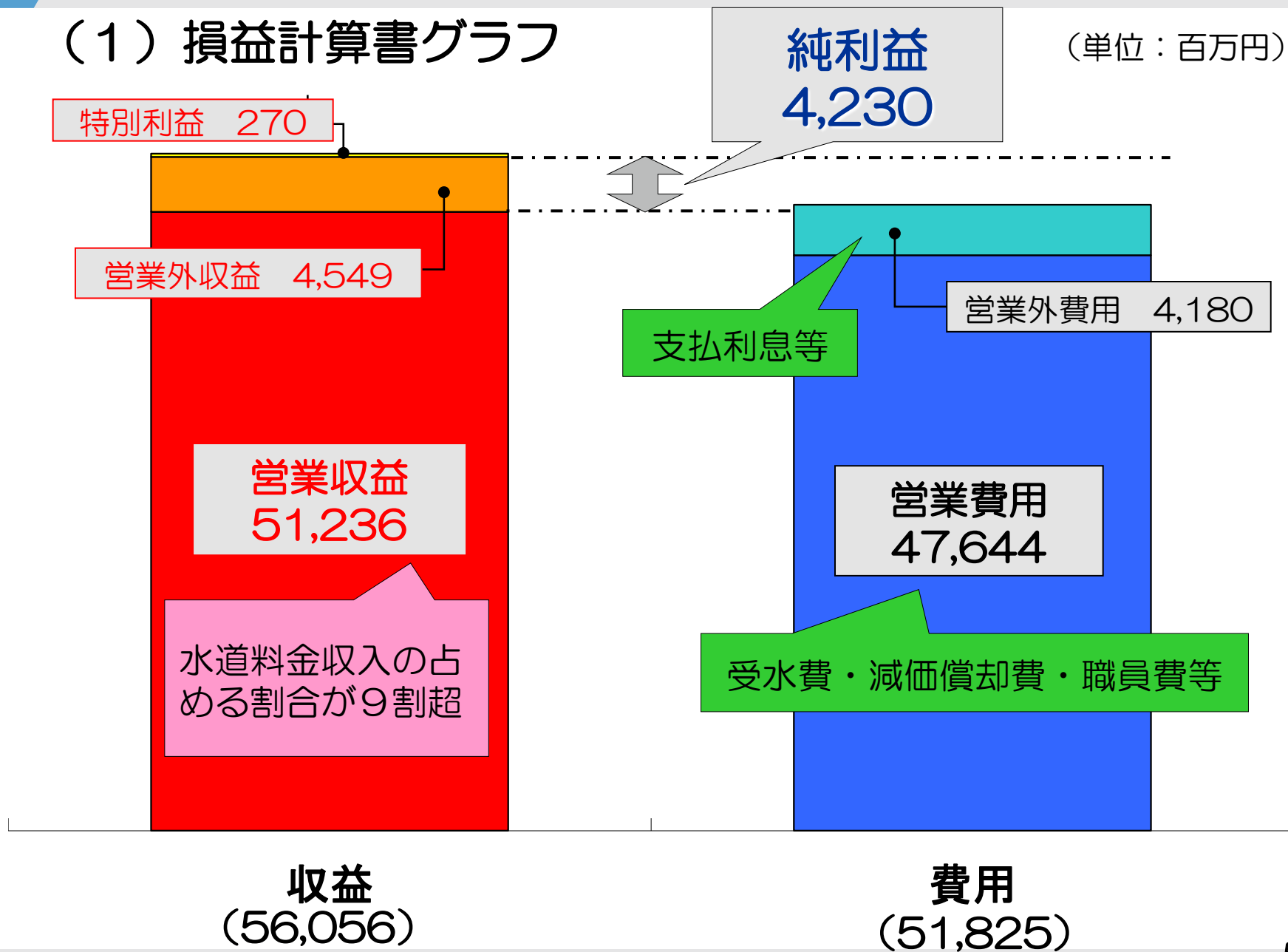
科目等		年度	平成27年度 決算額 A	平成26年度 決算額 B	増減額 A-B
資本的 収支	資本的収入 ①		10,190	7,188	3,001
	企業債		4,000	1,000	3,000
	他会計からの長期借入金		6,000	6,000	0
	その他収入		190	188	1
	資本的支出 ②		28,680	23,928	4,752
	一般建設改良費		15,012	11,988	3,023
	企業債等償還金		13,665	11,911	1,753
その他支出		3	27	△ 23	
資本的収支差引額 (① - ②) ③			△ 18,490	△ 16,739	△ 1,750



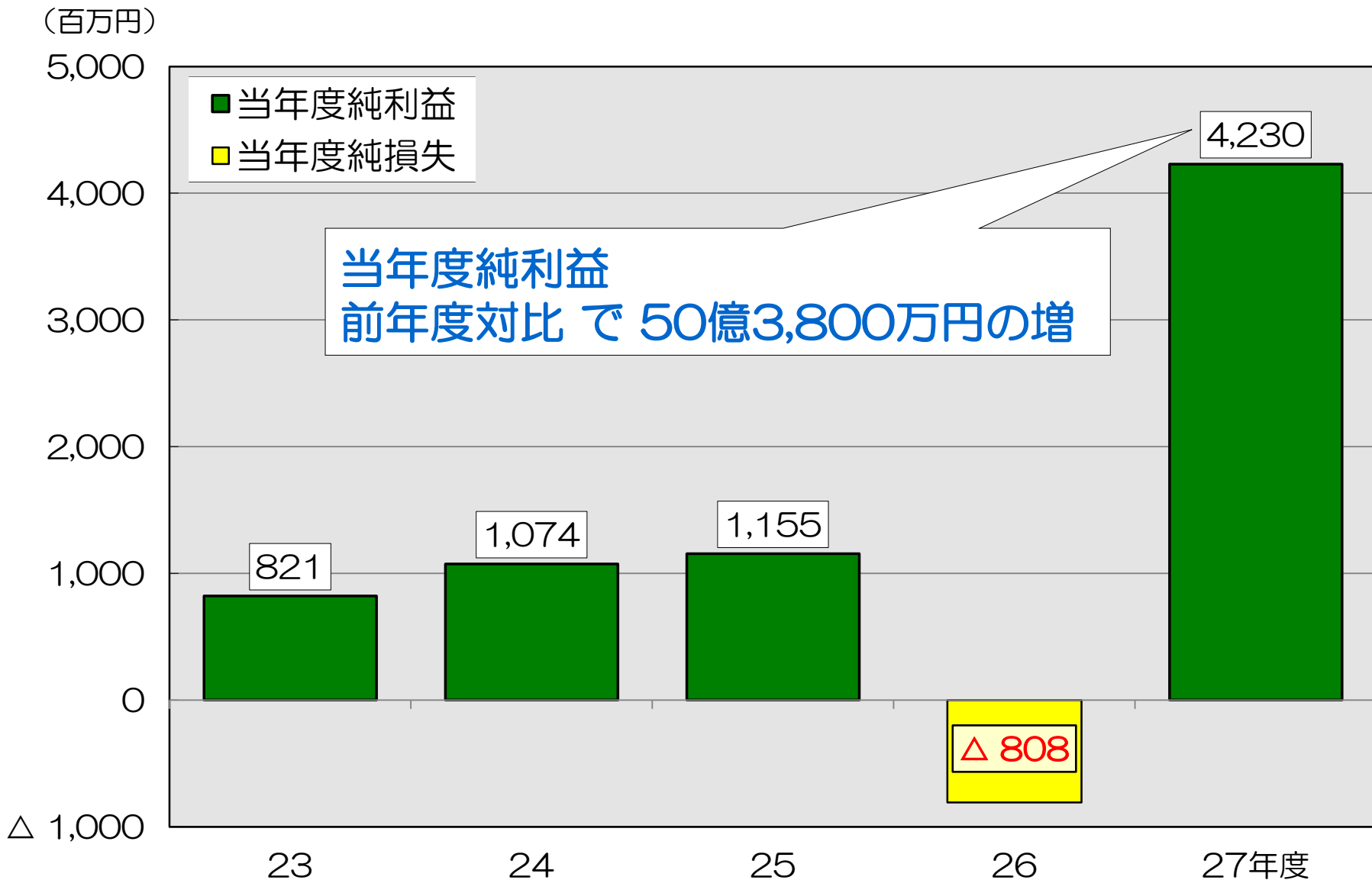
2 グラフで見る決算書

(1) 損益計算書グラフ

(単位：百万円)



(2) 当年度損益の推移



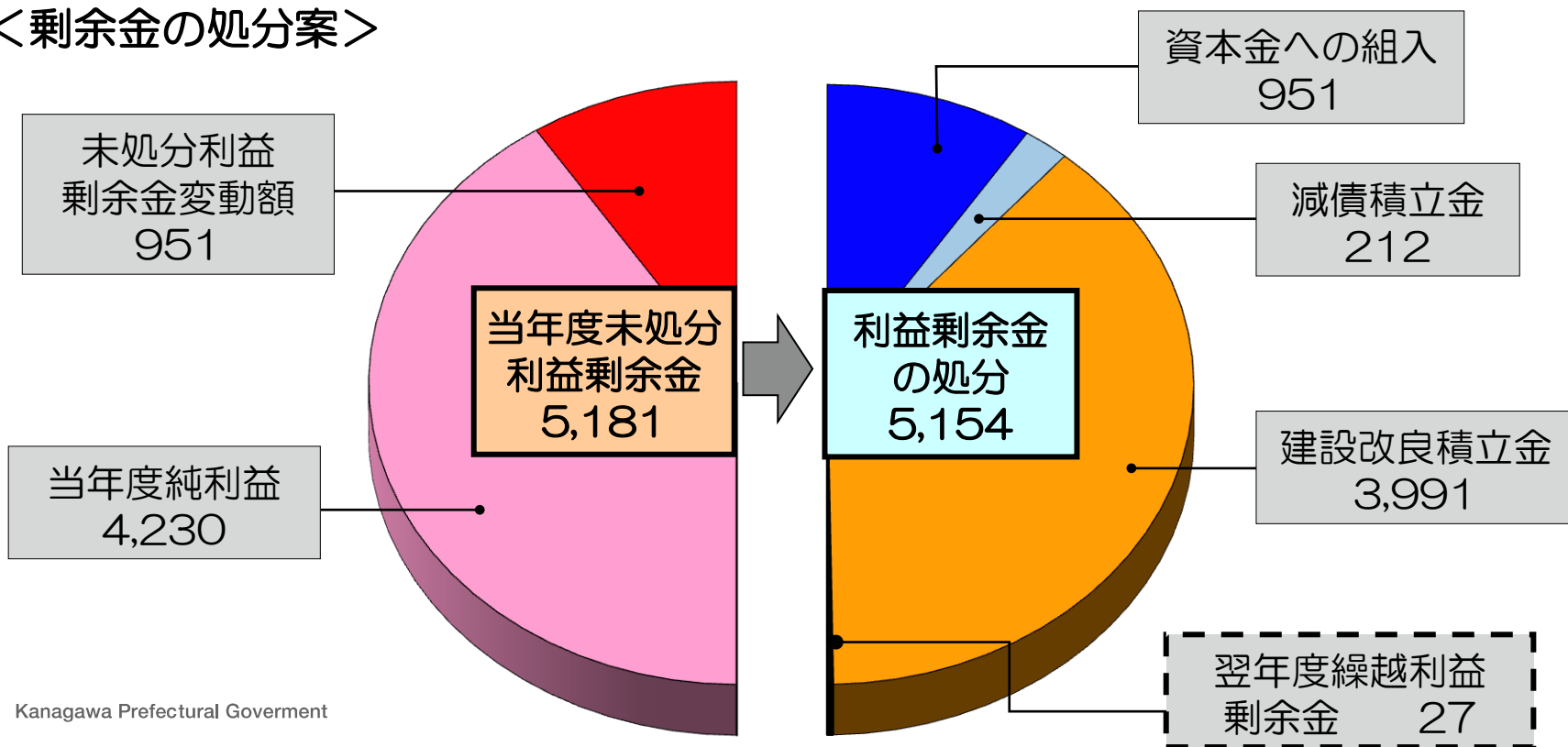
(3) 剰余金の処分

<当年度末処分利益剰余金の増減> (単位：百万円)

1	当年度純利益	4,230
2	未処分利益剰余金変動額	951
当年度末処分利益剰余金		5,181

(単位：百万円)

<剰余金の処分案>



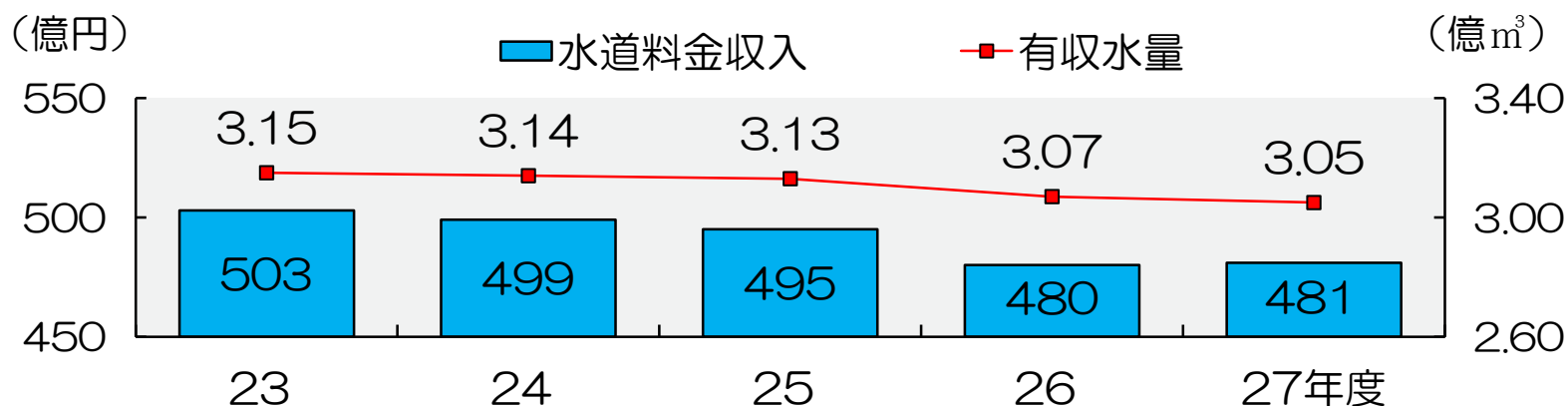
(4) 水道料金収入

<水道料金収入（税込み）の前年度比較>

(単位：千円)

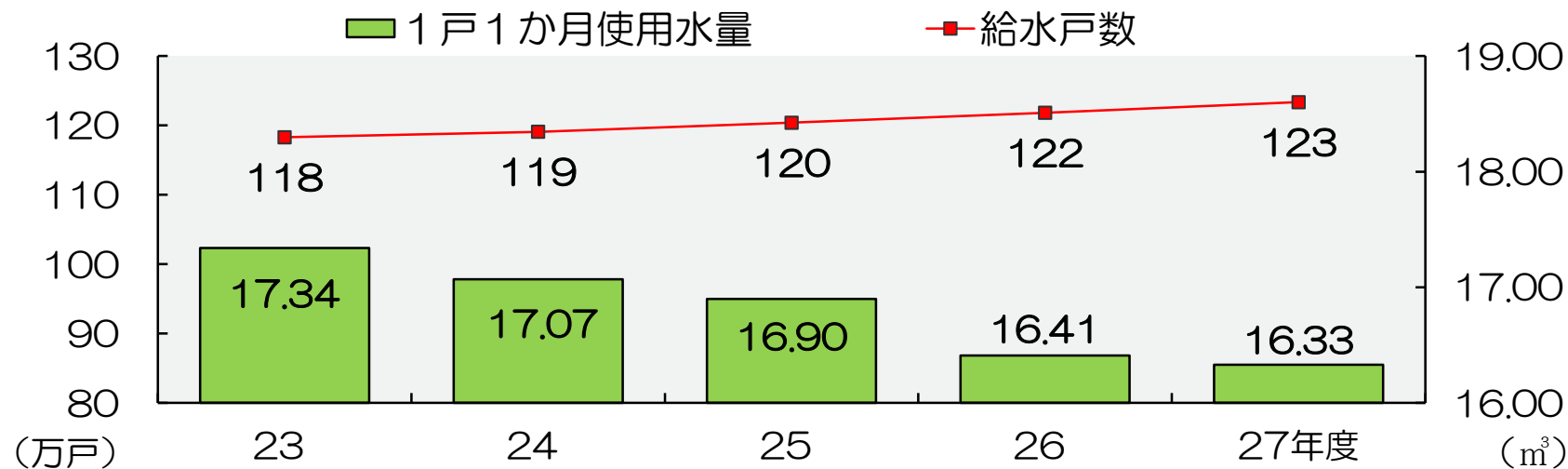
区分		年度	平成27年度 決算 (A)	構成比 (%)	平成26年度 決算 (B)	構成比 (%)	比較増減 (A)-(B)	前年対比 (A)/(B) (%)
水道料金			51,954,205	100.0	51,677,941	100.0	276,264	100.5
使用 区分	家事用		33,802,708	65.1	33,416,601	64.7	386,107	101.2
	業務用		16,802,807	32.3	16,907,458	32.7	△104,651	99.4
	営業用		(9,193,770)	(17.7)	(9,177,520)	(17.8)	(16,250)	(100.2)
	公共用		(2,745,524)	(5.3)	(2,770,943)	(5.4)	(△ 25,419)	(99.1)
	工業用		(4,863,513)	(9.4)	(4,958,995)	(9.6)	(△ 95,482)	(98.1)
	浴場用		41,214	0.1	47,379	0.1	△6,165	87.0
	浴場用		(4,174)	(0.0)	(4,209)	(0.0)	(△ 35)	(99.2)
	プール用		(37,040)	(0.1)	(43,170)	(0.1)	(△ 6,130)	(85.8)
	一時用		222,302	0.4	191,692	0.4	30,610	116.0
	分水		1,085,174	2.1	1,114,811	2.1	△29,637	97.3

<水道料金収入（税抜）と有収水量の推移>

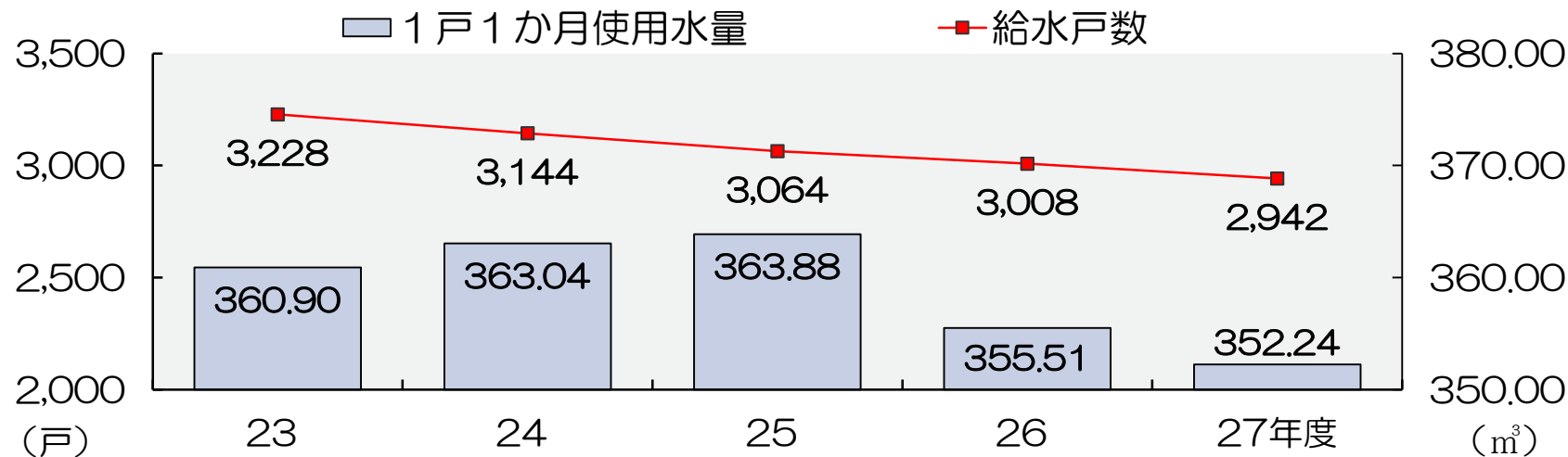


<参考> 家事用・工業用の1戸1か月使用水量と給水戸数の推移

<家事用>



<工業用>



(5) 水道料金の免除の状況

① 免除の概要

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に督促から5年を経過し、かつ債務者の所在不明等により納入見込みのない水道料金について、神奈川県県営上水道条例に基づき免除する。

② 件数及び金額の合計額

15,222件、44,854,609円（平成26年度：17,178件、56,009,291円）

③ 免除の内訳

ア 理由別内訳

- ・ 債務者の所在不明：15,177件、44,485,631円
- ・ 債務者の破産：45件、368,978円

イ 用途別内訳

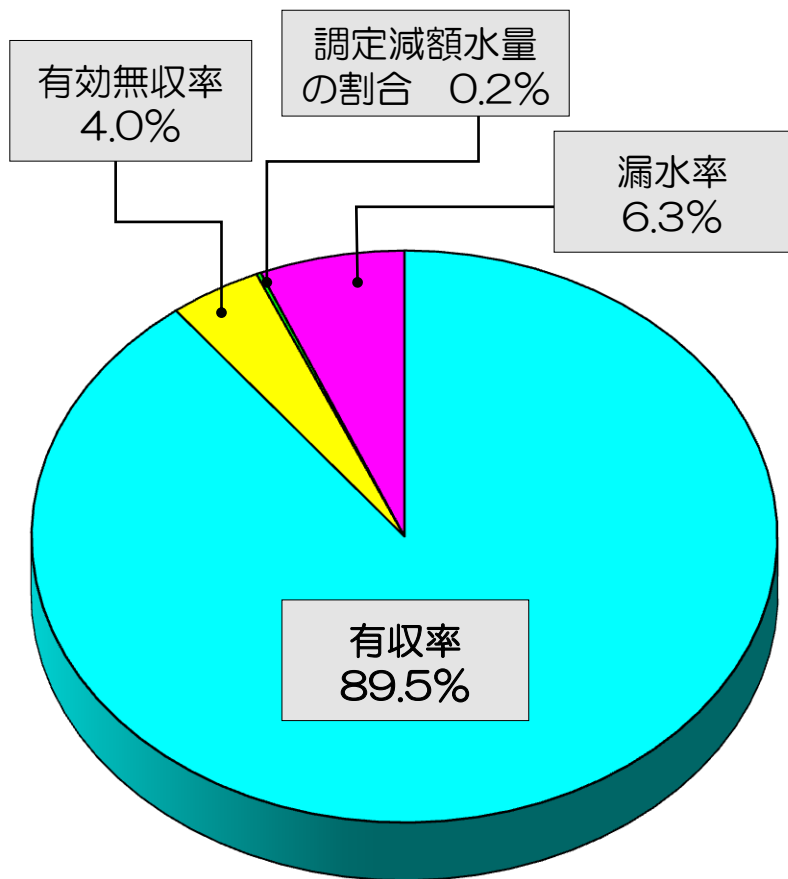
家事用：14,312件、35,280,361円・業務用他：910件、9,574,248円

ウ 金額別内訳

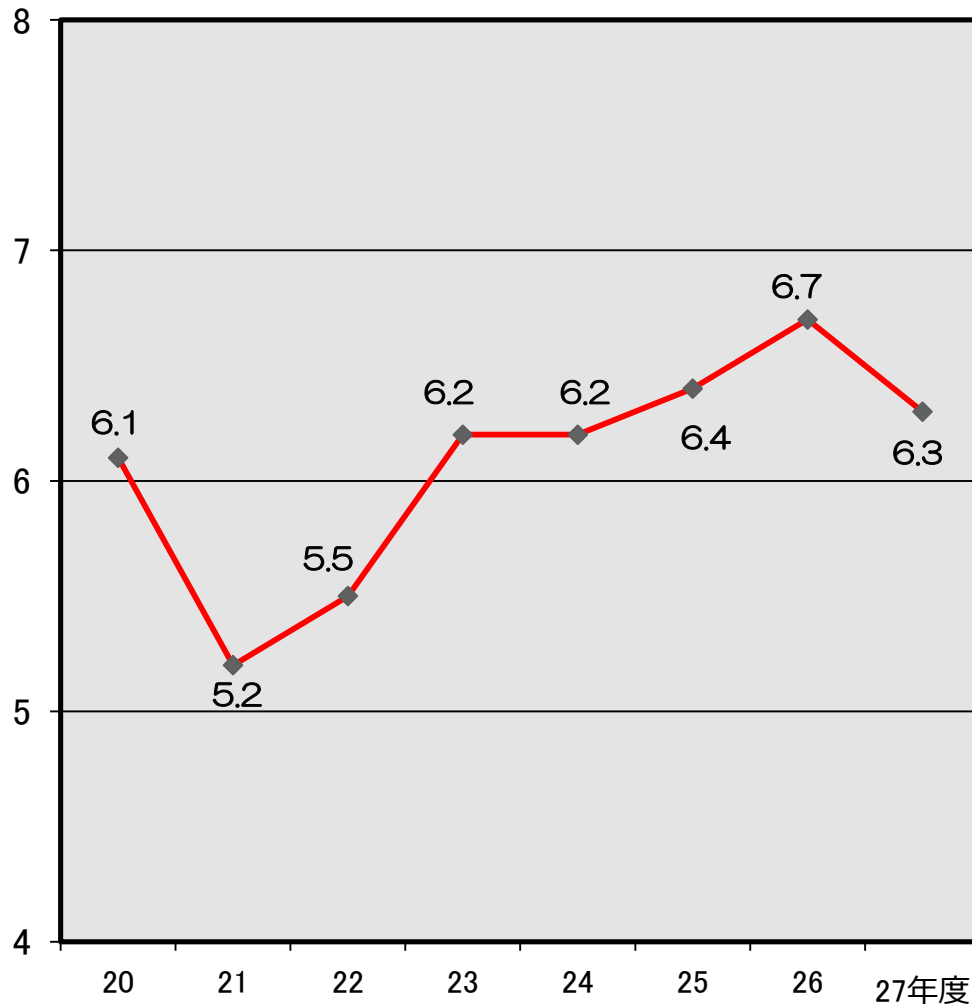
金額帯		件数
1,000,001円 以上		0件
500,001円 以上	1,000,000円 以下	1件
100,001円 以上	500,000円 以下	19件
10,001円 以上	100,000円 以下	503件
10,000円 以下		14,699件
合計		15,222件

(6) 漏水率の推移

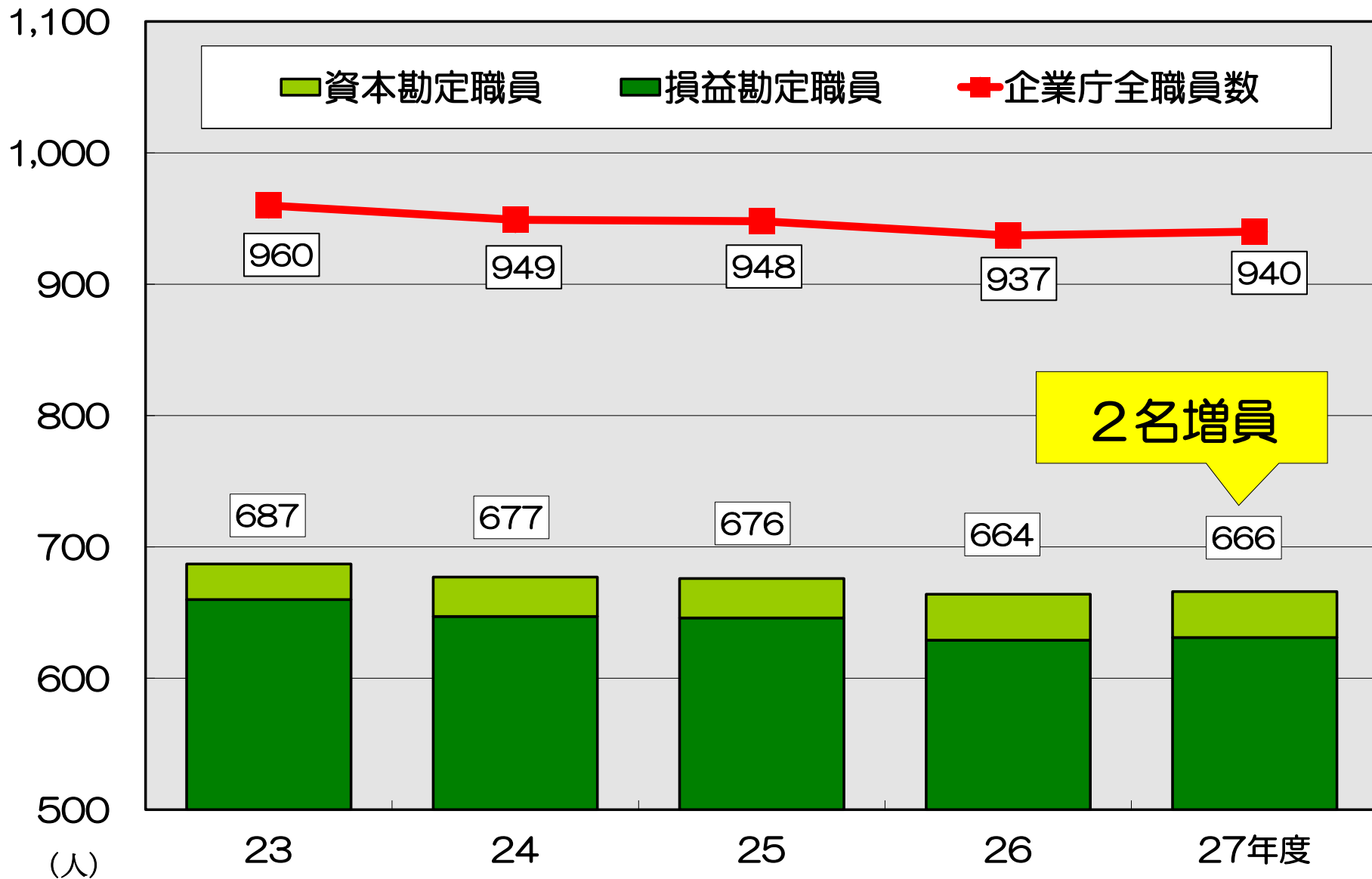
送水量分析



漏水率の推移 (%)

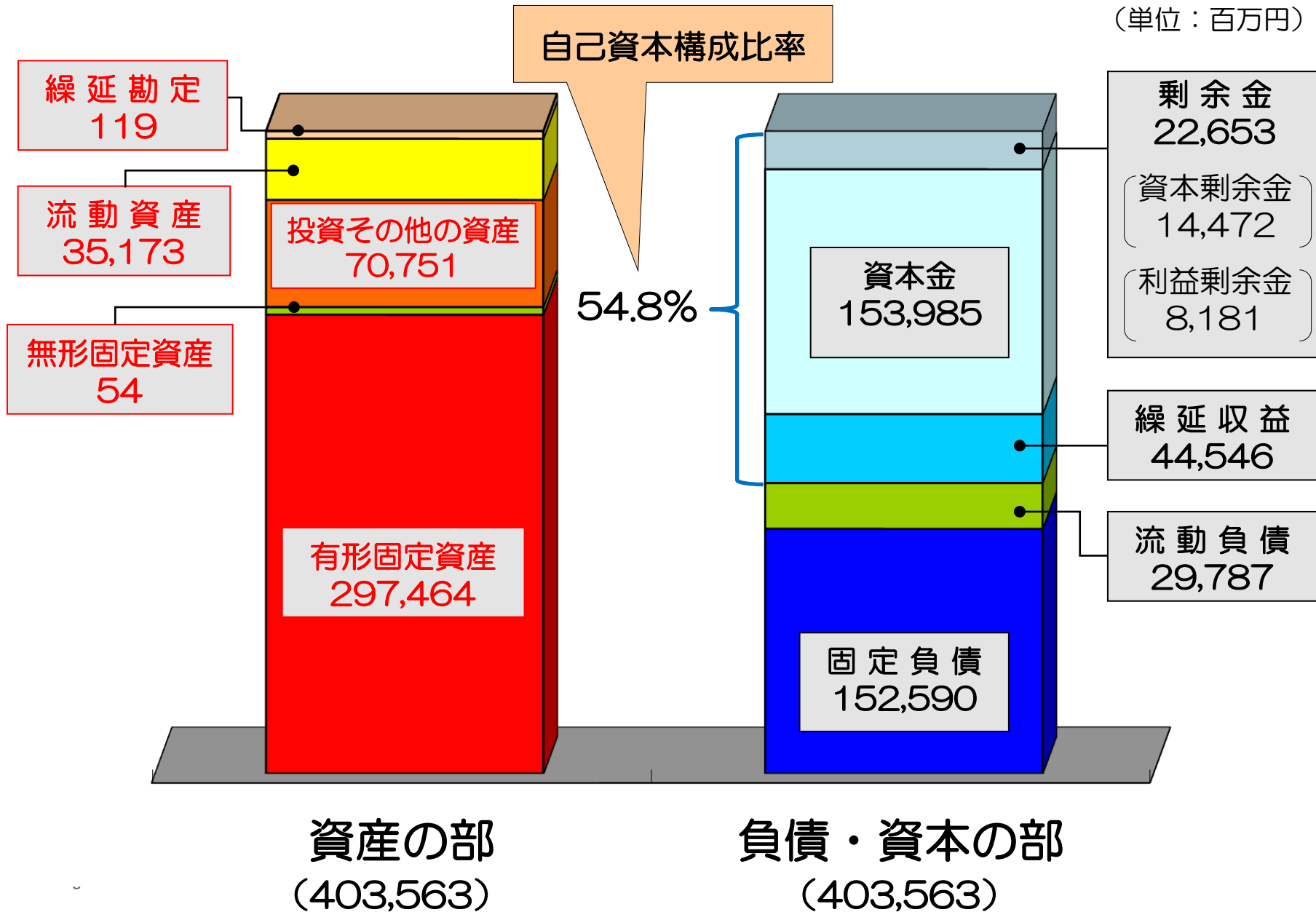


(7) 職員数の推移

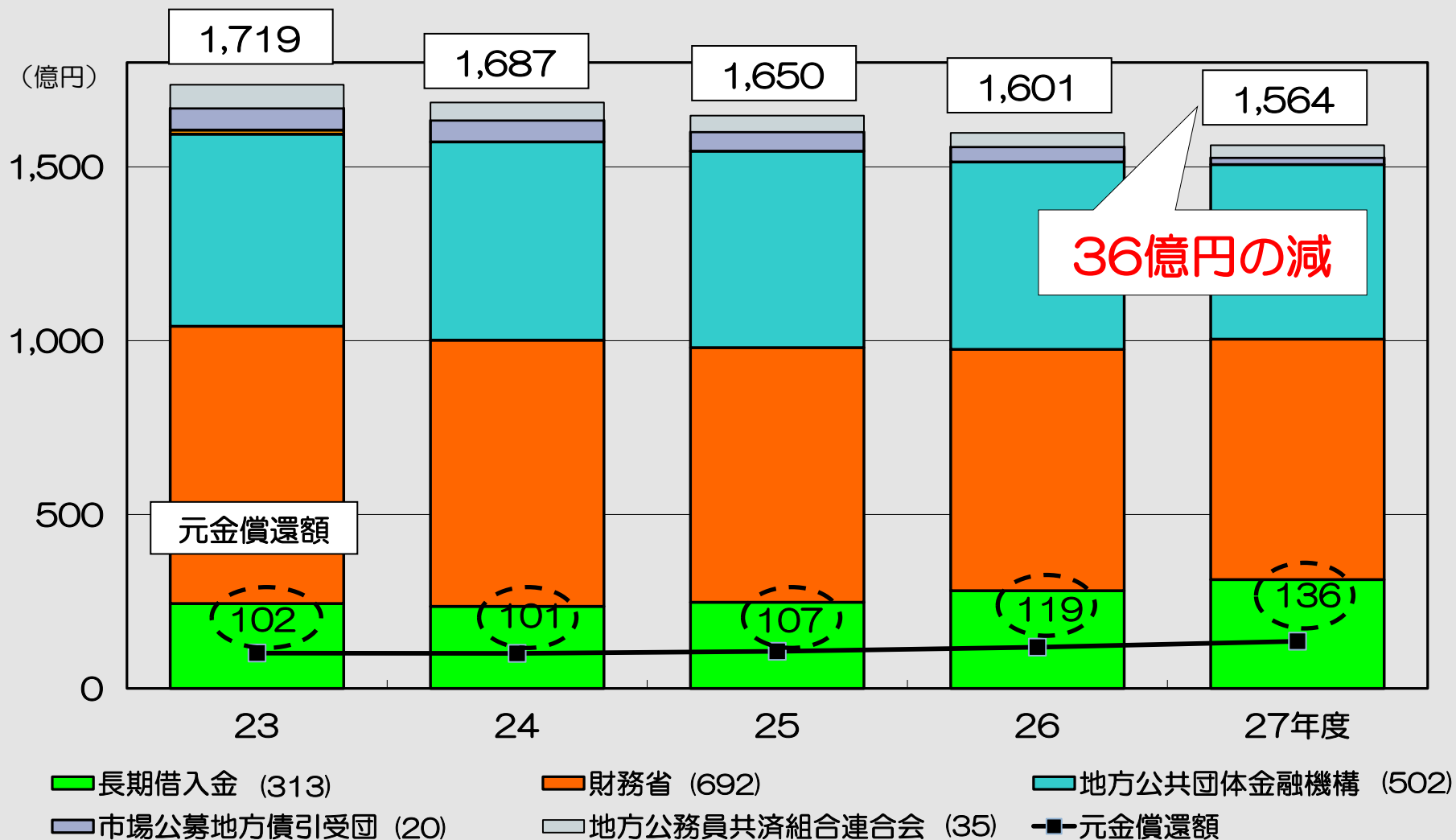


(8) 貸借対照表グラフ

(単位：百万円)



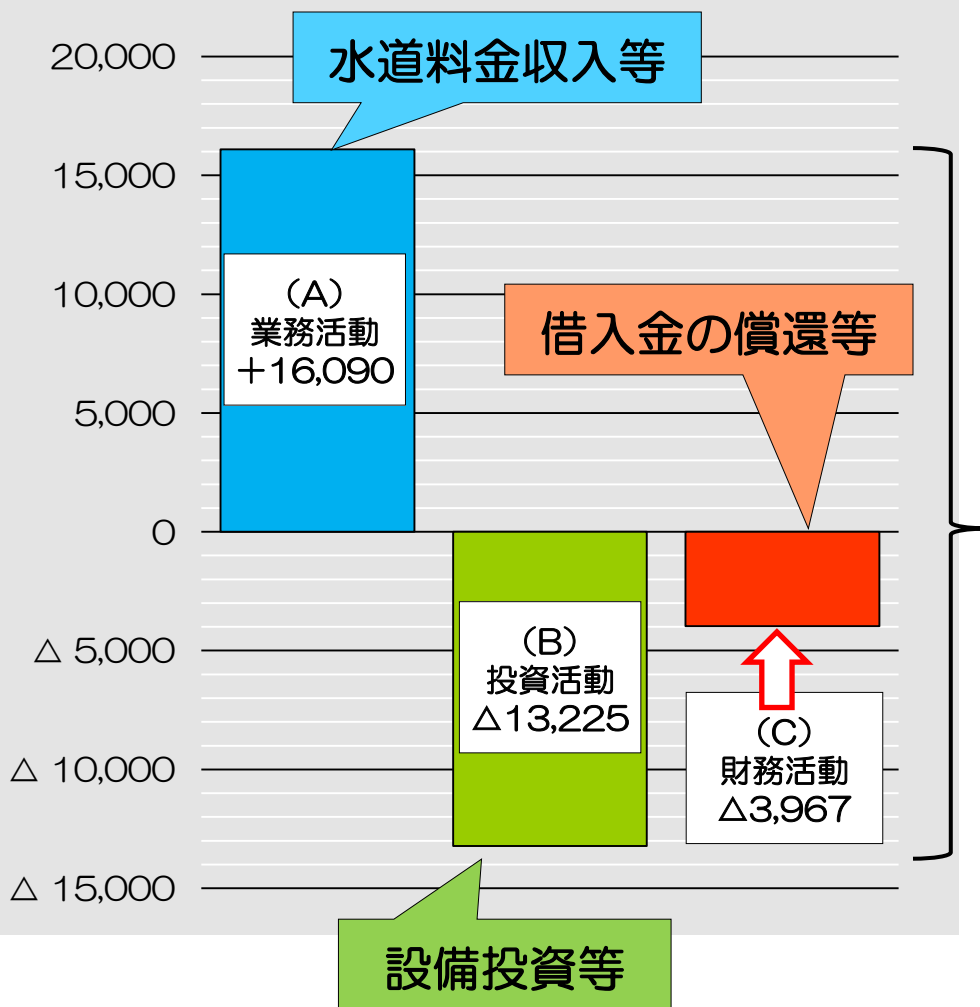
(9) 企業債・長期借入金残高の推移



※ () 内は、平成27年度末の残高である。

(10) キャッシュフローグラフ

(単位：百万円)



<キャッシュフロー計算書 (抜粋)>

(単位：百万円)

業務活動による キャッシュフロー (A)	16,090
投資活動による キャッシュフロー (B)	$\Delta 13,225$
財務活動による キャッシュフロー (C)	$\Delta 3,967$
資金増加額 (又は減少額) (A) + (B) + (C)	$\Delta 1,102$
資金期首残高	27,512
資金期末残高	26,410

<参考> 神奈川県営水道事業経営計画における財政収支計画との比較

(単位：億円)

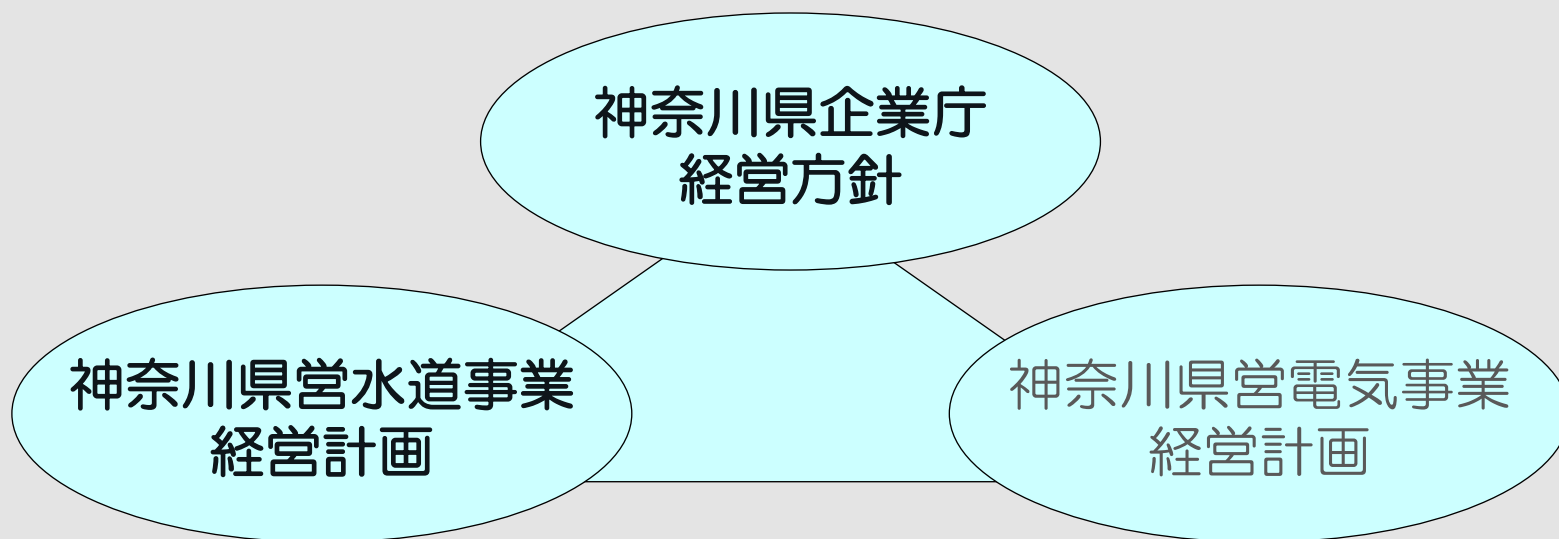
科目等		年度	26		27		28	29	30
			計画額	決算額	計画額	決算額	計画額	計画額	計画額
収益的収支	収益的収入 a		648	633	626	601	618	613	609
	内訳	水道料金	532	517	530	520	525	521	517
		その他収入	116	116	96	82	93	92	92
	収益的支出 b		657	633	589	549	557	555	559
	消費税等資本的収支調整額等 c		10	8	11	10	13	12	12
当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d		△19	△8	26	42	48	46	38	
資本的収支	資本的収入 ①		72	72	107	102	105	95	97
	資本的支出 ②		255	239	286	287	301	293	290
	内訳	建設改良事業費等	136	120	149	150	182	170	170
		元金償還金	119	119	137	137	119	123	120
資本的収支差引額 (① - ②) ③		△183	△167	△179	△185	△196	△198	△193	
資金収支	前年度からの繰越資金④		137	172	144	199	119	103	83
	資本的収支財源過不足額の補填 (減価償却費等内部留保資金) ⑤		127	136	154	161	180	178	174
	当年度分資金収支 (③ + ⑤) ⑥		△56	△32	△25	△24	△16	△20	△19
	退職給付引当金の新規計上⑦		64	58	-	-	-	-	-
	翌年度への繰越資金 (④ + ⑥ + ⑦) ⑧		144	199	119	172	103	83	64



Ⅱ 平成27年度事業実績

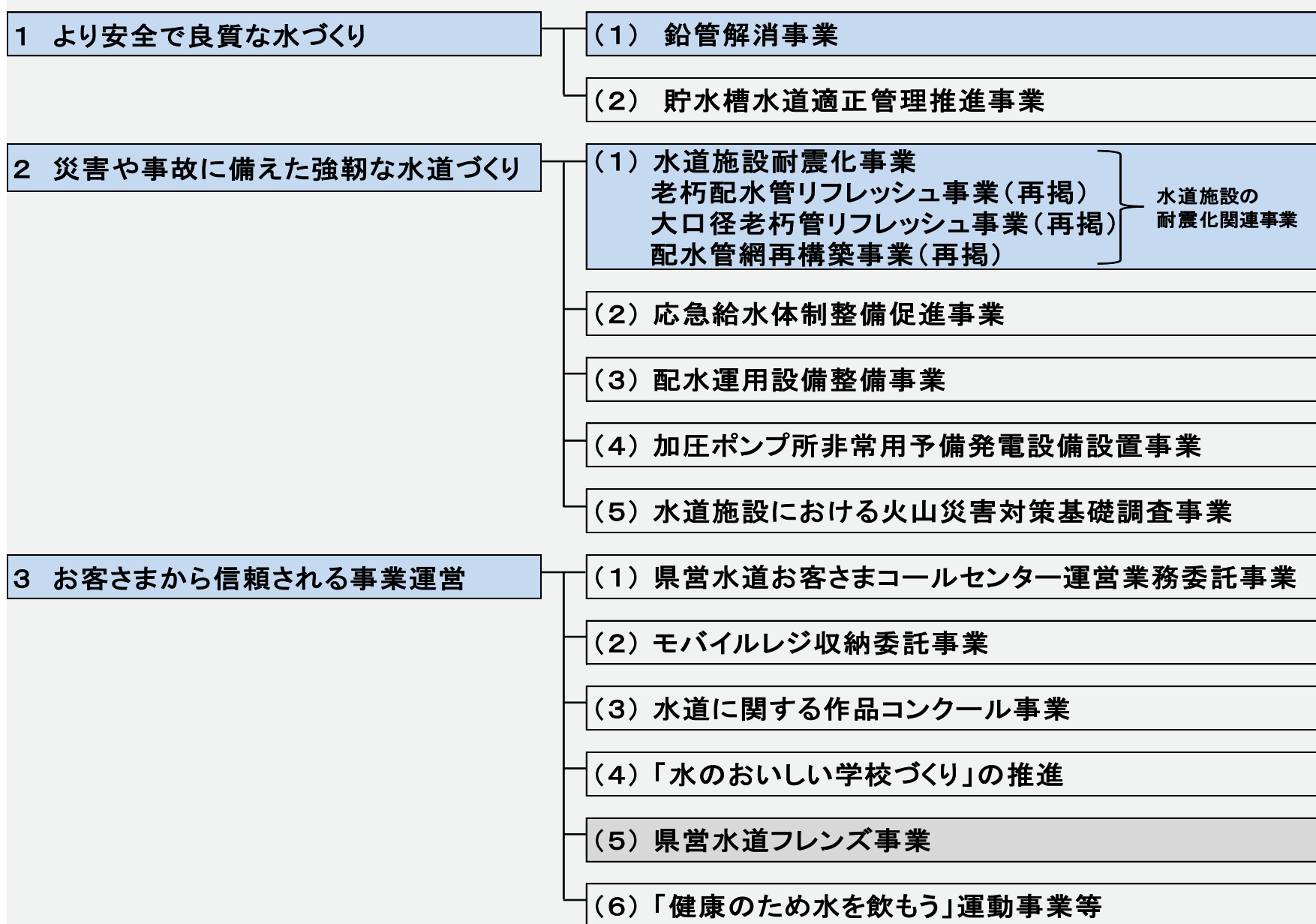
1 平成27年度における主な取組の内容

「神奈川県企業庁経営方針」、「神奈川県営水道事業経営計画」及び「神奈川県営電気事業経営計画」を基に計画的、効率的に事業を進め、県民のライフラインを担う立場から、安全で良質な水の安定供給や電力の安定供給などに努めました。



2 水道事業

<主要施策体系図>



＜主要施策体系図＞

4 安定した水の供給体制の確保

(1) 水道施設整備事業

(2) 寒川浄水場排水処理施設管理事業

(3) 老朽配水管リフレッシュ事業

(4) 大口径老朽管リフレッシュ事業

(5) 配水管網再構築事業

(6) 配水池等統廃合事業

(7) 寒川浄水場非常用予備発電設備更新事業

(8) 江の島ポンプ所改良工事

5 地域社会や国際社会への貢献

(1) 箱根地区水道事業包括委託事業

(2) 水道メータ分解作業業務委託事業

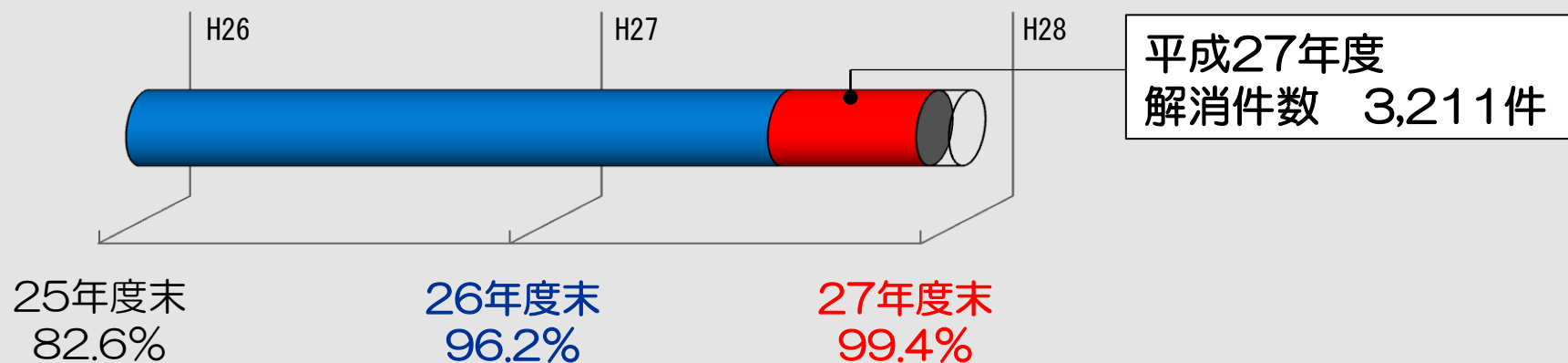
6 広域水質管理センターの設置

(1) より安全で良質な水づくり

<鉛管解消事業>

より一層安全な水を供給するため、鉛を使用している公道内の給水管について計画的に取替工事を実施し、解消に努めた。

・鉛管の解消率



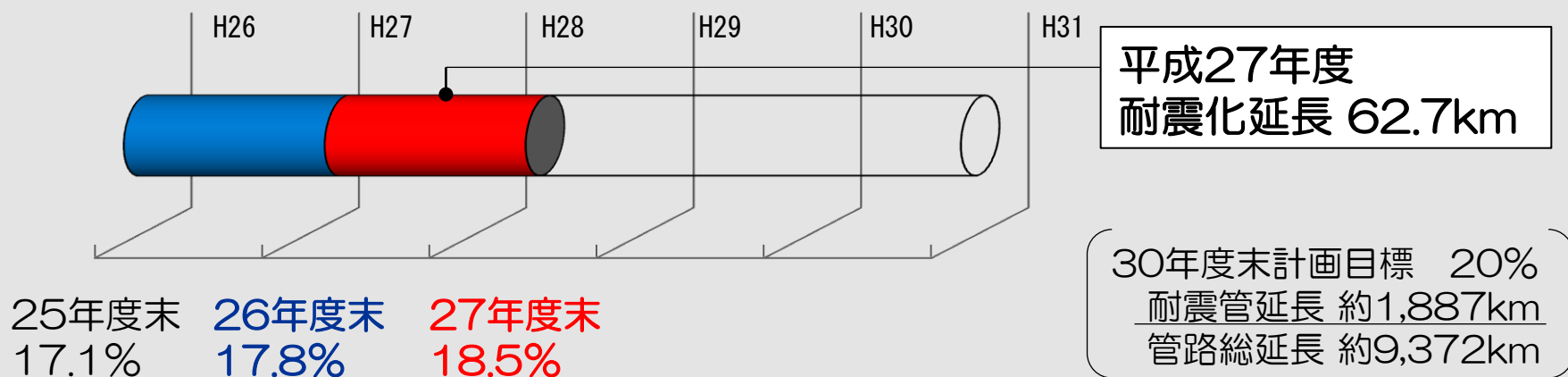
※ 国県道の車道に残存する管のうち老朽管に接続されているもの（578件）は、老朽管更新工事にあわせて解消する。

(2) 災害や事故に備えた強靱な水道づくり

<水道施設耐震化事業>

災害時に重要となる、災害拠点病院などの重要給水施設への供給管路や基幹管路に耐震継手管を採用するなど、水道施設の耐震化に取り組んだ。

・全管路の耐震化率



・ 基幹管路の耐震適合率

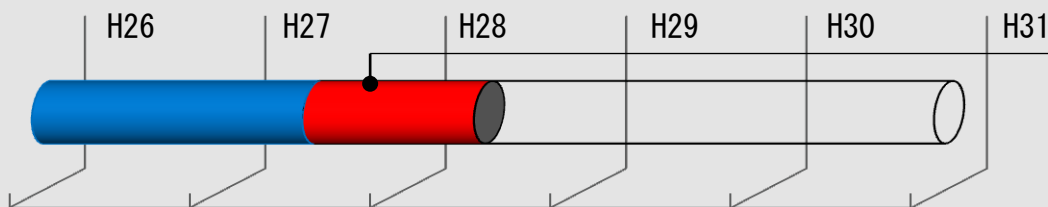


平成27年度
耐震化延長 2.9km

25年度末 26年度末 27年度末
66.4% 66.6% 66.9%

30年度末計画目標 69%
耐震適合管延長 約477km
基幹管路延長(H24) 約692km

・ 県指定災害拠点病院9箇所への供給管路の耐震化率

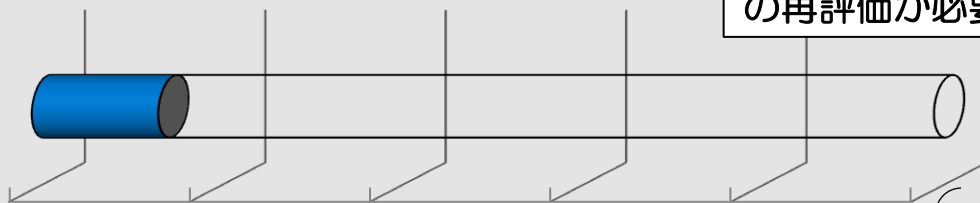


平成27年度
耐震化延長 0.9km

25年度末 26年度末 27年度末
47.5% 63.3% 73.3%

30年度末計画目標 100%
耐震管延長 約9.3km

・ 配水池の耐震化率



※ 神奈川県地震被害想定の見直しに伴い、耐震化の再評価が必要となったため、27年度は進捗無し。

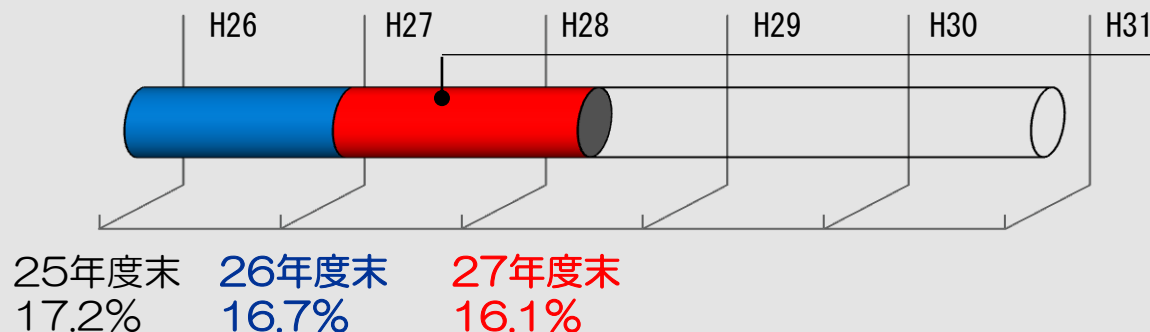
25年度末 26年度末 27年度末
17.7% 20.2% 20.2%

30年度末計画目標 36%
耐震化した配水池の容量 約256,560m³
統廃合後(H55)の配水池の容量 約714,740m³

<老朽配水管リフレッシュ事業>

老朽化している水道管を耐震性の高い鋳鉄管に取替え、安定給水の確保を図った。

・老朽管残存率



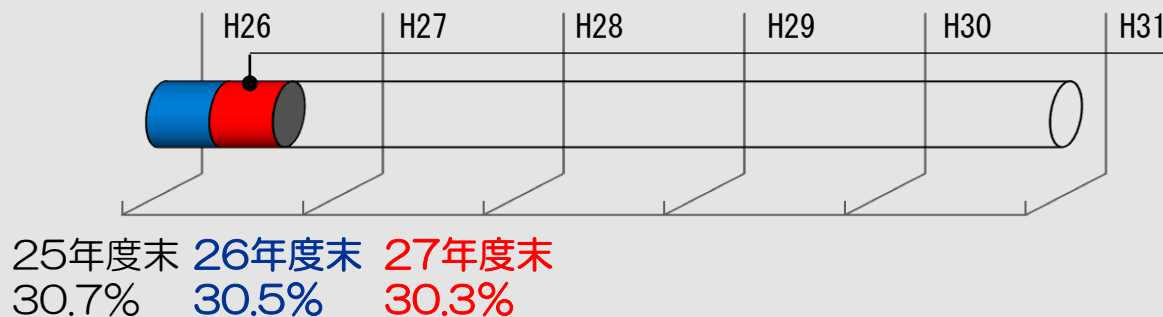
平成27年度
解消延長 40.3km

30年度末計画目標 15%
老朽管残存延長 約1,079km
管路総延長(H16) 約7,399km

<大口径老朽管リフレッシュ事業>

強度的に弱い昭和46年以前に布設した大口径管路の更新を行い、水道水の安定供給の確保を図った。

・基幹管路の老朽管残存率



平成27年度
解消延長 1.3km

30年度末計画目標 28%
老朽管残存延長 約193km
基幹管路総延長(H24) 約692km

写真① 大口径老朽管リフレッシュ事業



<開削工法>

地盤を直接掘削して水道管を埋設していく工法で、掘削深さが浅いところで用いられる一般的な工法。

(3) お客様から信頼される事業運営

＜県営水道フレンズ事業＞

県営水道の事業運営や水道水の安全性などについて、若年層をはじめ、より幅広い層のお客様に積極的に情報提供を行い、お客様の理解を深めご意見を頂きながら、県営水道を共に考えていくために、新たなモニター制度として「県営水道フレンズ」を実施した。

水道フレンズ交流会の様子



○
グループ
ワーク



○
浄水場
見学



(4) 広域水質管理センターの設置

○ 設置の趣旨

平成22年8月の「神奈川県内水道事業検討委員会」の報告を受け、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の4水道事業者及び神奈川県内広域水道企業団が、それぞれ個別に行ってきた水質検査等の業務を共同で処理することにより、水質検査技術の向上や水質事故発生時の対応の強化を図る。

○ 設置年月日 平成27年4月1日

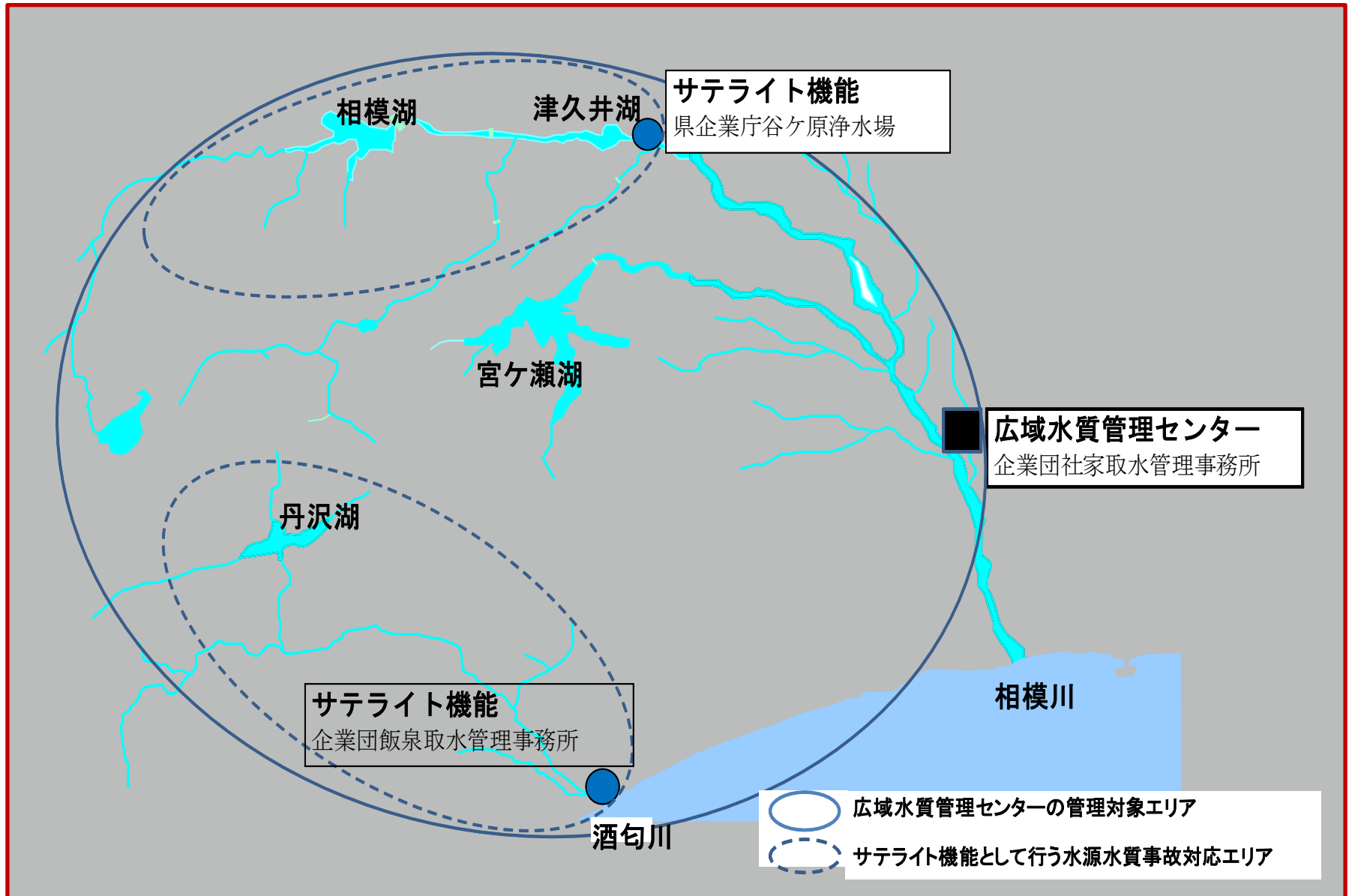
○ 業務内容

水源の水質検査の一元化、水質事故への対応の一元化

○ 実施体制

- ・ 神奈川県内広域水道企業団に4水道事業者の業務を集約する。
- ・ 水質事故に迅速に対応するため、相模川上流域は県企業庁谷ヶ原浄水場が、酒匂川流域は企業団飯泉取水管理事務所が、サテライト機能を担う。

<実施体制イメージ>



写真② 広域水質管理センター

広域水質管理センター（正面）



水質検査の作業状況



ご清聴ありがとうございました。

